

市消防団女性部

第19回全国女性消防操法大会に出場

10月22日、常陸大宮市消防団女性部が、茨城県消防協会の推薦を受け、横浜市の消防訓練センターで開催された全国女性消防操法大会に出場しました。大会には全国から47チームが出場し、秋晴れのもと競技が行われました。

大会で行われた軽可搬ポンプ操法は、操作開始から標的を落とすまでの時間と動作の安全性・確実性を競い合うもので、6人が1チームとなり、水槽から軽可搬消防ポンプを使用して取水し、ホースの延長を行い、標的のボール2個を落とす競技です。

演技をしたコースは応援席の目の前のコース。大勢の人が見守る中、緊張感でいっぱいになりながらも堂々と演技を行い、練習の成果を発揮することができました。



▲隊員の皆さん

左から

指揮者 三次雅子さん 1番員 倉持亜紀子さん 2番員 菱沼美和さん
隊 長 山崎正子さん 3番員 清水 正江さん 4番員 細貝恵子さん

補充員 岡山 香さん



市消防団女性部は、全国大会への出場が決まってから約7カ月の間、助川雅之・石川保・坪井研二東消防署員を中心とした消防署員による指導のもと練習を行いました。

練習回数は4月から週2回ずつ行い、9月からは3回に増やし、直前には一日おきとなりました。家庭内外で、さまざまな役割を担いながらの練習は、肉体的にも精神的にもたくさんの苦労があったと思いますが、家族や職場の皆さんの理解と協力に支えられ練習を続け、この日を迎えました。



選手以外の消防団女性部員も練習に参加し、選手をサポートしました。



▲指導員の皆さん 左から助川さん、石川さん、坪井さん



▲細貝さん



▲倉持さん



▲三次さん



▲岡山さん



▲菱沼さん



▲清水さん

